

「誰もが生きがいを感じ、

自分らしく暮らしていける品川」の実現に向けて、

「区民の幸福（しあわせ）」

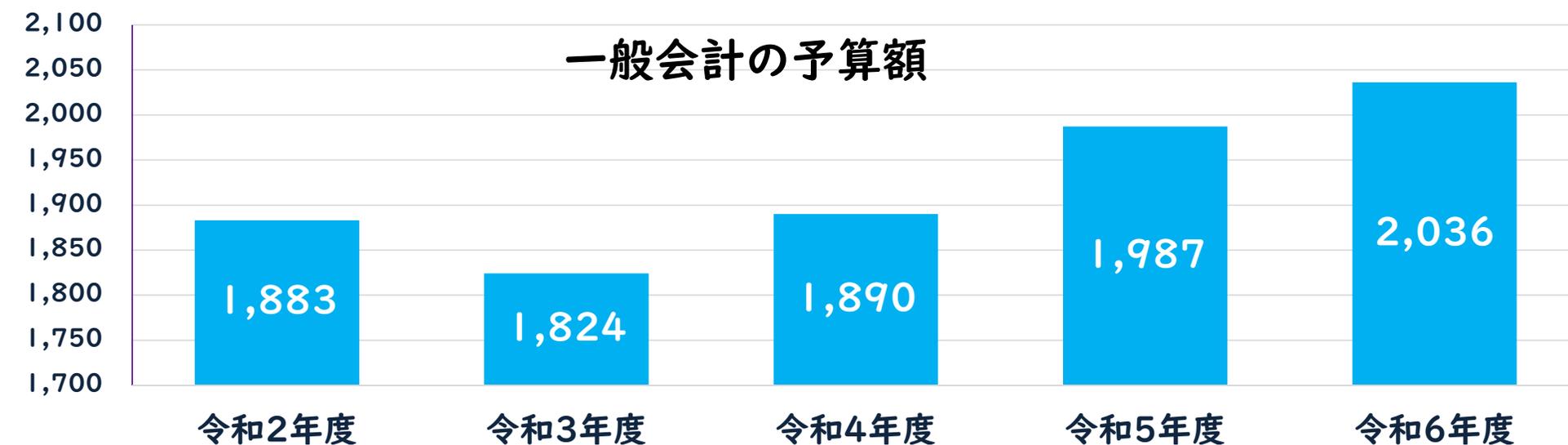
すなわちウェルビーイングの観点から、新時代のしながわ
を牽引していくための予算



予算規模

過去最大 総額**2,036億円**の予算 (前年度比+2.4% +48億円)

(億円)



令和6年1月31日

予算編成の視点

「幸福（しあわせ）」を予算に

- ・ 区民の抱える不安や不満などの「不」を少しでも取り除く
- ・ 未来に希望が持てる社会をつくるための予算を編成

（参考）世界幸福度調査

- ・ 日本の幸福度は世界47位
- ・ 指標の一つである「一人当たりのGDP」などは相対的に高い水準にあるが、「人生の選択の自由度」や「寛容さ」といった指数が低い



令和6年1月31日

予算編成の考え方 (①事務事業評価)

全665事業の事務事業評価を実施
一般会計予算の1% **20億円**の財源を捻出



事務事業評価の果実である財源を
「区民の幸福（しあわせ）」へと振り向ける



予算編成の考え方（②区民アンケート）

区民アンケートの実施

昨年8月に実施した「**全区民アンケート**」から
区民ニーズや**幸福実感度**を分析



令和6年1月31日

予算編成の考え方 (②区民アンケート)

区民アンケートの実施概要

対象	中学生を除く15歳以上の全区民向け	区立小中義務教育学校の児童・生徒向け
調査項目	4項目10問 「幸福実感度や地域愛着度」「羽田空港の新飛行ルートに関すること」「区民の区政への参加・参画」「区政に関するご意見」	6問 「幸福実感度や地域愛着度」「羽田空港の新飛行ルートに関すること」を児童・生徒向けに表記したもの等
調査対象	358,035人 (対象世帯 230,931世帯)	1年生～9年生 22,895人
有効回答数等	87,086人 (有効回答率24.3%)	12,649人 (有効回答率55.2%)

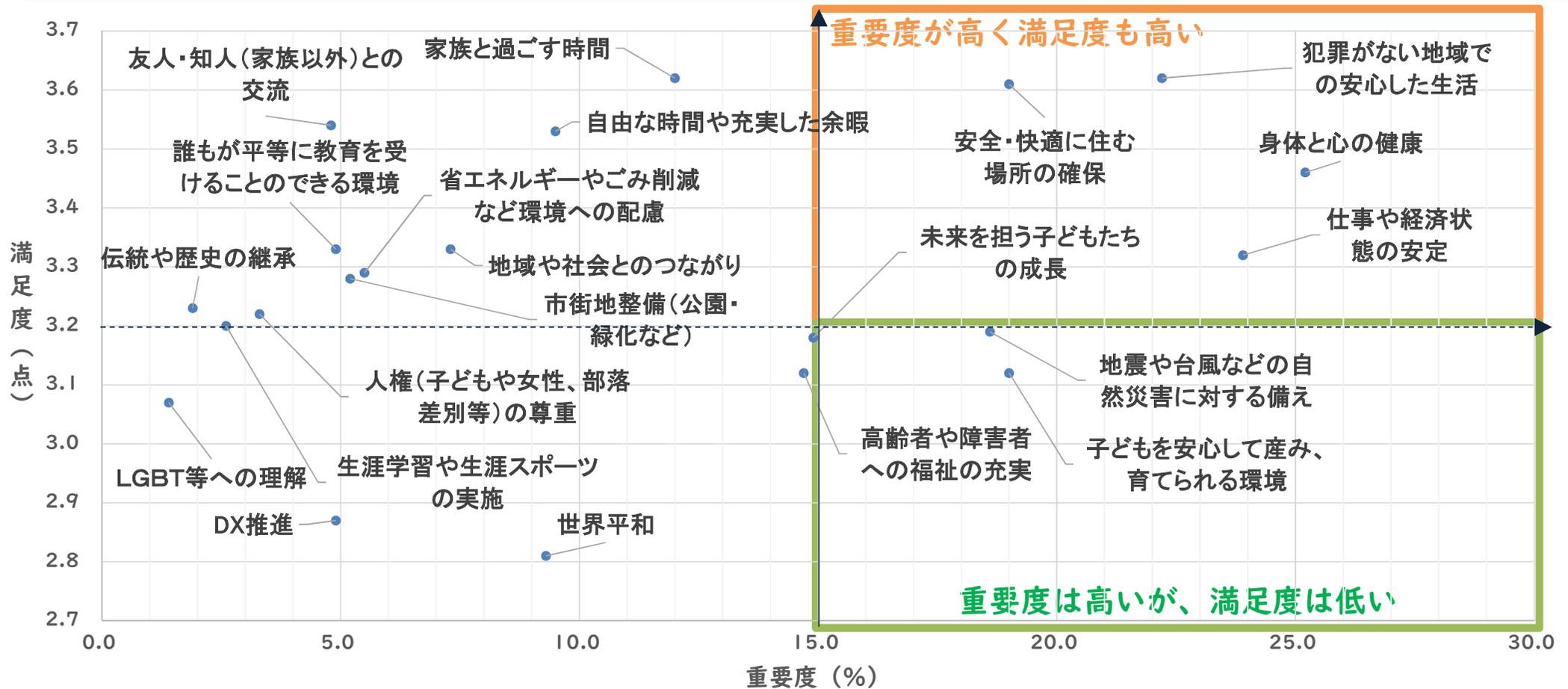
予算編成の考え方 (②区民アンケート)

自分らしく幸せに暮らしていくために
「特に重要」だと考えること (上位8項目)



予算編成の考え方 (②区民アンケート)

区民アンケートの結果概要



予算編成の考え方

全区民アンケートの結果

【重要度が高く、満足度も高い】

- ・ 犯罪がない地域での安心した生活
- ・ 安全・快適に住む場所の確保
- ・ 身体と心の健康
- ・ 仕事や経済状態の安定

【重要度は高いが、満足度は低い】

- ・ 地震や台風などの自然災害に対する備え
- ・ 未来を担う子どもたちの成長
- ・ 子どもを安心して産み、育てられる環境
- ・ 高齢者や障害者への福祉の充実



区民の抱える「不」を少しでも取り除き、
未来に希望が持てる社会をつくる



ウェルビーイング予算

事務事業評価で捻出した20億円を主な財源として

ウェルビーイング予算

(参考)

- ・政府では、2021年のいわゆる「骨太の方針」で、各種基本計画にウェルビーイングに関するKPIを設定。内閣府でも、2019年度から生活の満足度（ウェルビーイング）の調査を行い各種政策へ反映
- ・ニュージーランドでは、2019年に「子どもの幸福の向上」、「メンタルヘルス」、「経済の転換」などを柱とした世界初となる「ウェルビーイング予算」を編成

を編成

令和6年1月31日

ウェルビーイング予算 4つの柱

アンケートの結果の分析から4つの柱に基づき予算を編成

(1) 安全・安心を守る	8.7億円
(2) 社会全体で子どもと子育てを支える	14.7億円
(3) 生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる	8.4億円
(4) 未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる	6.6億円

総額 38.4億円



ウェルビーイング予算 概要

(1) 安全・安心を守る

8.7億円

- 自助・共助の強化 携帯トイレを全区民に無償配布
- 共同住宅のエレベーター用防災チェアを無償提供
- 耐震診断費用の全額助成
- 個人住宅へ防犯カメラなどの設置助成
- コンビニと連携したAEDの設置場所を大幅拡充

など

(2) 社会全体で子どもと子育てを支える

14.7億円

- 義務教育の学用品の所得制限なし完全無償化
- 未就園児の定期的預かり事業を拡充
- 産後ケア希望者すべてが利用可能に
- HPVワクチン接種助成を男性に拡大
- 液体ミルク・紙おむつの自販機等を区施設に設置

など



令和6年1月31日

ウェルビーイング予算 概要

(3) 生きづらさをなくし 8.4億円 住み続けられるやさしい社会をつくる

- 介護職員居住支援特別手当 区独自の上乗せ助成
- デジタル技術で高齢者と障害者の安心を見守る 救急安否確認システムの無償化（所得制限なし）
- 障害児の補装具・日常生活用具の所得制限撤廃
- 認知症の早期発見と伴走型支援拠点整備
- 不登校対応 指導員の全校配置、メタバースを活用した支援 など

(4) 未来に希望の持てる 6.6億円 サステナブルな社会をつくる

- ウェルビーイング・SDGs推進ファンド創設
- マイボトル給水スポットの設置助成
- 製品プラスチックの回収 区内全域で本格実施
- マイガーデンの整備でグリーンインフラを充実
- 中小企業の販路拡大、人材スキルアップ など



令和6年1月31日

主要施策（安全・安心を守る）

- 1 携帯トイレを全区民に無償配布 **【新規】** 5億円
 - ・全区民1人20個 計800万個を防災ハンドブックと共に配布
- 2 エレベーター閉じ込め対策！防災チェア無償提供 **【新規】** 4,500万円
 - ・希望する共同住宅に、非常用トイレ、飲料水や保存食等を収納した防災チェアを無償提供
- 3 木造住宅等の耐震診断費用の全額助成 3億5,245万円
 - ・木造住宅等の耐震診断助成の補助率10/10



主要施策（安全・安心を守る）

- | | |
|---|---------|
| 4 区独自の感震ブレーカー設置助成の対象拡大
・ 設置補助対象地域を区内全域に拡大し、上限額を引き上げ | 2,000万円 |
| 5 避難所機能の強化 女性視点での備蓄品の配備
・ 女性視点の備蓄、避難所運営の見直し
・ ペット同行避難用の資機材を整備 | 1億628万円 |
| 6 防災訓練リニューアル 新たな「共助」のスキームづくり【新規】
・ 幅広い世代や事業者、NPO等の多様な主体が参加する新たな防災訓練の実施 | 1,068万円 |

防災関連予算 計 57億円

令和6年1月31日

主要施策（安全・安心を守る）

- 7 個人住宅防犯カメラ設置助成 ほか【新規】 503万円
・個人住宅への防犯カメラ、録画機能付きドアホンの設置費用の助成
- 8 高齢者インフルエンザ予防接種無償化 2億6,347万円
・65歳以上のインフルエンザ定期予防接種の費用を無償化
- 9 コンビニ90ヶ所にAEDを設置【新規】 1,618万円
・コンビニエンスストアと協定を締結し、AEDの設置場所を大幅拡充
・区有290ヶ所と合わせて合計380ヶ所に配備



主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

- | | |
|---|-----------|
| 1 区立学校学用品完全無償化【都内初・新規】
・所得制限なしで補助教材費（書道用具、絵の具など）を公費負担 | 5億4,940万円 |
| 2 すまいるスクールでの仕出し弁当 全37ヶ所で実施
・夏休み期間内に、全37ヶ所で実施、保護者の負担を軽減 | 1,073万円 |
| 3 未就園児の定期預かり事業実施の大幅拡充
・対象施設に幼稚園を追加するなど、実施施設数と受け入れ枠の増 | 1億6,472万円 |
| 4 品川区児童相談所開設【新規】
・令和6年10月に開設・地域社会とつながり子どもや子育てを支えていく | 8億7,841万円 |



主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

- 5 産後ケア事業 希望者全員を対象にメニューを大幅拡充 1億1,515万円
・対象者や利用回数の拡充、ケアメニューの充実と自己負担の軽減
- 6 HPVワクチン予防接種 男性への助成を開始【新規】 1,922万円
・女性の接種率向上、男性の任意接種への助成を実施し集団免疫を向上
- 7 不妊治療 区独自助成スタート【新規】 5,281万円
・保険診療の自己負担額に対し、上限5万円区独自助成を実施
・専門家によるオンライン相談等の開設



主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

1 介護職員等居住支援特別手当 区独自の手当創設 **【新規】** 5億4,240万円

- ・介護人材の確保・処遇改善を図る観点から、東京都の「居住支援特別手当」に区独自の支援制度を創設、月額1万円の上乗せ助成

2 ひとり暮らしの65歳以上高齢者や障害者を見守り

救急安否確認サービスを無償提供

【新規】 5,650万円

- ・デジタルを活用し緊急時に専門事業者が駆け付ける救急安否確認システム
- ・希望する対象者に所得制限なしで無償提供



令和6年1月31日

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

- 3 障害児の補装具・日常生活用具の購入費助成の所得制限撤廃 833万円
・ 障害児のいる全ての世帯を対象とした補装具・日常生活用具の購入費の負担軽減
- 4 高齢者補聴器購入費助成にかかる所得制限撤廃 2,897万円
・ 所得制限を撤廃し、社会的孤立やフレイルの防止予防を促進
- 5 認知症の早期発見の取り組みを促進 【新規】 1,778万円
・ 「あたまの元気度チェック」を50歳以上に引き下げ
・ 認知症伴走型支援拠点を整備



主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

- 6 障害者の超短時間就労のマッチング 1,028万円
・専任のコーディネーターを配置、希望者と企業とのマッチング
- 7 デフリンピックに向けた取り組みを充実 766万円
・デフスポーツ啓発イベント、手話講座の実施
・言語を見える化 音声翻訳表示ディスプレイの本庁舎総合窓口への設置 **【新規】**
- 8 医療的ケア見へ切れ目のない支援整備 **【新規】** 95万円
・NICUから在宅移行、福祉サービスの利用等、ライフステージを通じた支援体制整備



主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

9 発達障害教育支援員 全校配置

2億1,465万円

- ・ 小学校の発達障害教育支援員を15校から全37校に配置

10 不登校対応 多様な学びの場を提供

7,723万円

- ・ 校内別室指導支援員の全校配置
- ・ メタバースを活用した不登校支援 **【新規】**
- ・ 不登校ポータルサイトの新規開設（居場所や相談機関等の情報発信） **【新規】**



令和6年1月31日

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

11 いじめ防止・対策の強化 区長部局と教育委員会の連携による総合的対策
【教育委員会】 5,837万円

- ・ 全児童生徒へのいじめ予防授業と一人一台端末を活用した心の健康状態調査
- ・ 教職員専門研修の実施【新規】
- ・ いじめ相談弁護士の配置による体制強化【新規】

【区長部局】 702万円

- ・ 区長部局に新組織を設置、弁護士等の専門家を配置【新規】



主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる）

12 孤独・孤立対策推進【新規】

991万円

- ・ 関係機関による協議会の設置とシンポジウムの開催

13 ヤングケアラー支援の拡充

4,342万円

- ・ 今年度配置したコーディネーターを活用
- ・ 配食サービス、日本語が苦手な家庭への通訳派遣、学習支援、キャリア相談



令和6年1月31日

主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

- 1 「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」の創設 **【新規】** 5,000万円
・ウェルビーイング・SDGsに資する地域課題の解決に向けた事業に対する助成を実施
- 2 マイボトル給水スポット 設置助成で大幅増設へ **【新規】** 29万円
・マイボトル給水スポットの助成制度の創設とステッカー掲出による普及啓発
- 3 製品プラスチックの回収 4億1,051万円
・区内全域で本格実施・製品プラスチックのさらなる資源化を促進



主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

- 4 マイガーデンの整備** 2億7,806万円
- ・ マイガーデンの整備（区内3カ所目）
 - ・ 家庭菜園の体験講座の実施、家庭菜園の材料費等助成
- 5 脱炭素化、新たな地域交通サービスの実証実験【新規】** 6,800万円
- ・ グリーンスローモビリティやAIオンデマンド交通の導入に向けた実証実験
- 6 スタートアップ・創業支援をさらに促進** 1億1,169万円
- ・ 女性起業家へのテストマーケティングの機会の提供
 - ・ 小中学生を対象としたアントレプレナーシップ講座の実施
 - ・ 中小企業センターのあり方検討



主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

7 商店街のにぎわいと活性化の推進～切れ目のない経済対策～ 9億837万円

- ・ 春季、秋季プレミアム付区内共通商品券の発行 ※令和5年度補正予算を含む（春季分）
- ・ キャッシュレス決済ポイント還元事業（5億円） **【新規】**

8 しながわシティラン2025開催（令和7年3月） **【新規】** 7,968万円

- ・ 地域の絆を深め、品川の街の魅力を発信するために「オール品川」で開催

9 ホッケータウン品川 ホッケーを通じたまちづくり 1,552万円

- ・ しながわホッケー地域応援プロジェクト
- ・ ニュージーランドとのホッケー交流事業 **【新規】**



主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

- | | |
|--|---------|
| 10 町会・自治会の地域力向上へ向けた補助制度の創設 【新規】 | 350万円 |
| ・町会や自治会とNPO等の団体とが協働する取り組みへ補助 | |
| 11 舟運の定期化 【新規】 | 4,139万円 |
| ・舟運の通年運航、都市型水上アクティビティ試行事業等 | |
| 12 地域猫活動の助成拡大 | 1,453万円 |
| ・個人グループ単位での活動を可能にする地域猫活動協力員制度の創設 | |
| 13 ふるさと納税の魅力をアップ | |
| ・企業と連携し地域資源を活用した体験型返礼品を開発 | |
| ・応援プロジェクト型事業への寄付募集 | |



職員提案制度

- 区民ニーズに近く、現場に通じる**若手職員など**（会計年度任用職員含む）**全ての職員**のアイデアを活かす職員提案制度創設
- 提案した**職員自ら**による**区長へのプレゼンテーション**
- **9事業**を新たに**予算化**



令和6年1月31日

職員提案制度

- ◆子育て応援自販機設置 液体ミルクやおむつなど販売
- ◆おむつ真空パック機設置
- ◆どこでも赤ちゃんスペース開設
- ◆オンライン不妊相談スタート
- ◆EV庁有車シェアリング など

